

URの役割

【検討会でいただいたURへの期待】

- 民間企業では手が届かない部分を引き上げる役割がURの特異性。公共空間を楽しく使うためには苦しいことがたくさんあり、その苦しい部分はURでなければ手が出せない
- URは、短期的に回収できなくても長期的に回収出来れば良い、土地を持ち続ける事ができる等、民間企業ではなかなか出来ないような事ができる部分がある
- 長期勝負で、場合によっては地価が上がるまで待つて後で回収するとか、行政と資産を交換するとか、そういうことはURであればできるのではないか
- 瞬間的なプラスマイナスでは経済的ではなくなってしまうものがあつたとしても、時間をかければより良いものになるとか、効果がここだけではなくて周辺にも及ぶとか、そういうことを含めて対応して、それを証明してみせる役割がURにあるのではないか

【URとしての思い】

<国の政策実施機関として>

- URは、公共性と事業性の両立の下、広域的な視点に立ち、中長期的に取組みを実施する組織
- 国の政策を具体化し、そこから得られたものを国へフィードバックするとともに、地方公共団体等へ浸透させていくことが役割ではないか

<まちづくりの実践部隊として>

- URは、公的なデベロッパーとして、まちづくりを実践し、思いをかたちにする組織
- パブリックライフ、公共空間、そして居心地が良く・使われる公共空間をつくり出していくプレイスメイキングは、URが取り組むべき重要なテーマの1つと史料
- URはプレイスメイキングにより、まちを改善し、人々の暮らしを豊かにすることが役割ではないか

【今後の展開】

- 社内理解の浸透
 - ・本質の理解～エバンジェリストの育成
 - ・形から入る～職員スキルの底上げ
- 地方公共団体等への情報提供
 - ・勉強会
 - ・シンポジウム等の検討
- UR事業における実践
 - ・都市再生事業
 - ・団地再生事業